

PRESS RELEASE

2007年7月23日
株式会社エッチ・ディー・ラボ

(株)エッチ・ディー・ラボ『SystemC 動作合成スタイルガイド』を発売

株式会社エッチ・ディー・ラボ(横浜市港北区新横浜 3-1-4 代表取締役社長:長野義史)は、このたび高位設計の標準言語である SystemC の設計ノウハウ集である『SystemC 動作合成スタイルガイド』の販売を 2007 年 8 月 1 日より開始いたします。

『SystemC 動作合成スタイルガイド』は、動作合成による設計効率の向上と設計データの再利用性向上を目的として JEITA SystemC ワーキンググループで作成された「動作合成スタイルガイド構成要件()」を参考にして、株式会社エッチ・ディー・ラボが過去 3 年以上の SystemC 動作合成や検証環境の構築などのコンサルティング業務を通じて培った現場の設計ノウハウを体系的にドキュメント化したものです。既に株式会社エッチ・ディー・ラボの社内設計プロジェクトやコンサルテーション契約で導入され、複数の国内設計プロジェクトで運用されています。SystemC 動作合成を活用することにより設計期間は従来の RTL 設計手法に比べ 1/2 から 1/3 に短縮されており、大規模なものでは、SystemC のみで 300 万ゲートを超える回路ブロックが設計されています。

『SystemC 動作合成スタイルガイド』は、動作合成技術を広く一般化し、全ての半導体、電気機器メーカー、デザインハウス様向けに編纂したものです。SystemC 動作合成用の記述スタイルを定義し、より良い品質の回路が作成できるよう規定化しています。また、動作合成の導入を促進するため、豊富な記述例と検証環境構築方法が紹介されています。記述例は、電子データとして提供する予定であり、初めて動作合成を導入する設計者が、より簡単に環境構築ができるようになります。

主な特長は以下の通りです。

1. SystemC 動作合成を利用するメリットや設計及び検証フローを解り易く解説
2. 一環したコーディングルールの提供により、プロジェクト内に限らず、企業の壁を超えた設計資産の再利用性を促進
3. 現在業界標準となっている「RTL 設計ガイドライン」の開発実績に裏付けられた、設計ルールの定義、項目別重要度表示と解説
4. 回路アーキテクチャの構築や検証の考え方などのメソドロジーを提供し、回路設計に携わる全ての技術者、管理者に有用なノウハウを提供

5. 体系的な解説により SystemC による動作合成を取り入れる際の学習曲線(ラーニング・カーブ)を 50%以上加速することが可能
6. 動作合成用サンプル記述は、現在最も市場で普及している米国 Forte Design Systems 社製 SystemC 動作合成ツール Cynthesizer™ によって動作合成チェック済み
7. 全ての動作合成用サンプル記述、記述テンプレートは株式会社エッチ・ディー・ラボのホームページから無償ダウンロード可能

株式会社エッチ・ディー・ラボは、今後も動作合成技術や設計/検証技術の進展、また他の商用 SystemC 動作合成ツールの進歩に併せて随時内容をアップグレードします。また、2008 年度中には英語版を完成させ、『SystemC 動作合成スタイルガイド』の世界標準としての普及を目指します。

JEITA EDA 技術専門委員会 SystemC ワーキンググループ(主査:長谷川隆氏/富士通株式会社)のコメント

「RTL と異なり、動作合成に関しては共通の設計記述スタイルが存在しないために、試行錯誤のため余計に時間がかかったり、設計の再利用がうまくいかない事がありました。標準化推進の観点から、JEITA EDA 技術専門委員会が策定した「動作合成スタイルガイド構成要件()」に沿った『SystemC 動作合成スタイルガイド』が広く活用されることで、SystemC を用いた設計の再利用性が高まり、設計生産性が大幅に向上することを期待します。」

米国フォルテ・デザイン・オートメーション社の営業マーケティング副社長 Brett Cline 氏のコメント

「多くの日本のお客様が SystemC 動作合成を利用することによって、複雑でかつ高度なタイム・トゥー・マーケットのチャレンジを克服されています。『SystemC 動作合成スタイルガイド』によって、さらに多くのお客様が SystemC 動作合成による設計品質の向上と設計期間の短縮を享受できるものと期待しています。」

株式会社エッチ・ディー・ラボ 代表取締役 CTO 長谷川裕恭のコメント

「この度の『SystemC 動作合成スタイルガイド』の発売によって、いよいよ新世代の設計手法が普及し、業界全体の設計品質の向上と設計資産の再利用を加速し、業界貢献できるものと自負しております。 SystemC 動作合成による RTL 実装は、エキスパート設計者

でも習得にはある程度の実務経験が必要でしたが、『SystemC 動作合成スタイルガイド』と記述サンプルの無償提供により、習得期間の大幅に短縮が可能です。」

発売日：2007年8月1日

販売価格：法人向けコンテンツ・ライセンス価格 一式 300万円から（消費税含まず）

販売計画：初年度 10 件の受注を計画しています。

添付資料：『SystemC 動作合成スタイルガイド』第一版 目次、内容例

【株式会社エッチ・ディー・ラボについて】

1996年設立以来、回路設計の総合コンサルティング会社として、設計者教育、コンサルティング、設計サービスを提供しています。詳細は、www.hdlab.co.jpをご覧ください。

【フォルテ・デザイン・システムズについて】

フォルテ・デザイン・システムズ (Forte Design Systems) は抽象度の高い設計を可能にするための動作合成ソフトウェア製品を提供する先端企業で、本社は米国カリフォルニア州サンノゼ市にあります。詳細は、www.ForteDS.comをご覧ください。

【JEITA：(社)電子情報技術産業協会 EDA技術専門委員会 SystemCワーキンググループについて】

日本国内における唯一のSystemCの標準化推進組織として、OSCI及びIEEE P1666ワーキンググループと協力して言語仕様の専門的な技術検討と改善提案を行うことで、SystemCの国際標準化に貢献しています。またSystemCを利用した設計手法の国内普及を推進することで、日本の産業界の競争力を増すことを目的として活動しています。詳細は、<http://www.jeita.or.jp> をご覧ください。

() 「動作合成スタイルガイド構成要件」

JEITA EDA 専門委員会 SystemC ワーキンググループが、動作合成を使った設計スタイルの標準化 / 共通化による設計生産性の向上と設計データの再利用を促進することを目的として策定したもので、動作合成を活用するためのガイドラインを作成するときに盛り込むべき要件とその構成を規定したものの。

JEITA EDA 専門委員会 <http://eda.ics.es.osaka-u.ac.jp/jeita/eda/index-jp.html>